

令和5年度

事業計画

公益財団法人えどがわボランティアセンター

江戸川区松島1-38-1

公益財団法人 えどがわボランティアセンター 令和5年度事業計画

1 基本方針

当法人の使命は、地域の様々な課題を自ら考えて行動し地域の福祉向上に貢献する区民を育成するとともに、ボランティア活動が区内で活発に展開されるようにすることです。

これまで、ボランティアに関する情報の収集・発信をはじめ、相談、普及・啓発、講座・講習・体験事業の開催、助成金の支給などのボランティアへの支援、災害時におけるボランティアの活動拠点の整備等に取り組んできました。

令和2年から流行した「新型コロナウイルス」は、ようやく収束の兆しがみえ、令和5年度からは以前のような内容の運営を行うことが求められます。

一方、コロナ禍での区財政状況の悪化に伴い、区からの補助金で運営されている当法人も、引き続き厳しい財政運営になることが予想されます。

令和5年度は、以上の状況を踏まえ、以下の方針のもと各事業に取り組んでまいります。

- (1) 講座・講習などをコロナ禍以前の状態にもどし、かつ、ボランティアに若い力を導入すべく、引き続きボランティアやNPO、江戸川区など関係機関、団体と連携を深めながら行っていきます。
- (2) 既存のホームページやセンターだより、フェイスブック、パンフレット等の内容を見直し、さらにわかりやすく、効果的な情報提供に努めます。また、新たな発信方法としてのSNSを研究します。
- (3) ウィズコロナで可能なボランティア活動について提案したり、ボランティア同士の交流や意見交換の場を提供し、ボランティアの自主的・主体的な活動を支援します。
- (4) 江戸川区や区社会福祉協議会と連携して災害ボランティアセンターの活動拠点の整備を進めるとともに、訓練や研修など実践的な取り組みを進めます。
- (5) 江戸川区が進めるSDGsの推進に、ボランティアセンターも引き続き協力していきます。

2 事業計画の内容

(1) 相談・紹介事業

ボランティア活動に参加したい、ボランティアを募集したい、ボランティア団体を立ち上げたいなど区民からの相談や、受入れ施設・団体等とのコーディネートを行います。

そのため、ボランティアの活動状況やボランティアのニーズ等、必要な情報を収集するとともに、わかり易い情報提供に努め、さらに有効なSNSの発信向上に努めていきます。また、コーディネート力の向上のため、職員の研修に力を入れていきます。

なお、これまで不十分であった個人でのボランティアのマッチングについて、実施に向けた検討を行います。

| 項目 | 内容 |
|---------------------|--|
| 「ボランティアセンターだより」の発行 | <ul style="list-style-type: none"> 発行回数：年6回（奇数月の第4火曜日） 発行部数：24,000部（町会回覧、学校・区施設に掲出） 発行形態：A3版 2つ折り（4色印刷・2色印刷） |
| ホームページ・フェイスブックなどの運用 | <ul style="list-style-type: none"> 【ホームページ】・ボランティア募集や活動先の紹介 ・講座の案内 ・登録制度、登録団体の紹介 ・ボランティア保険の案内 ・助成金等各種情報提供 【フェイスブック】・運用方法の検討 ・新しいSNSの方法について検討していきます。 |

(2) 講座・講習の開催

講座・講習の内容によって、対面での講座もしくはオンライン講座を開催し、ボランティア活動のきっかけづくりや、活動に必要な知識、技術を学ぶ機会とします。特に災害ボランティアについては、様々なNPOやボランティアと連携して開催します。

また、ボランティア体験の機会を提供して、ボランティアの養成拡大を図ります。

| 講座名 | 対象・内容等 |
|---------------------|-----------------------------|
| ア 初級講座 (対象：一般区民) | 「手話ボランティア養成講座」 ・開催：3日コース |
| | 「初心者のための音訳講座」 ・開催：6日コース |
| | 「デジジー録音図書製作講座」 ・開催：2日コース |
| | 「はじめての傾聴」 ・開催：2日コース |

| | |
|-------------------------------------|--|
| | <p>「日本語ボランティア入門講座」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催：8日コース |
| <p>イ 出前講座 (対象：学校、団体)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内容：小中学校の授業等で、障がい者からの講話及び手話・車いす介助、ガイドヘルプ等のボランティアを体験 ・開催：適宜（学校や団体等の要請に基づく） |
| <p>ウ 夏のボランティア体験 (対象：一般区民)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内容：図書館、屋外でのボランティア活動体験、など ・開催：夏休み期間中 |
| <p>エ 災害ボランティア養成講座 (対象：一般区民)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・内容：災害に対する事前の備え、災害時の行動、災害ボランティア及び災害ボランティアセンタースタッフを養成します。 ・開催：(入門編) (運営編) |
| <p>オ 障がい者の災害講座</p> | <p>福祉ボランティア団体協議会との共催により行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象：視覚・聴覚障がい者、車イス利用者など ・内容：災害時、皆で生き延びる方法を考える |
| <p>カ ボランティアのための日本語講座</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・対象：活動中の日本語ボランティア ・内容：現在活動中のボランティアの技術向上 ・開催：2日コース |

(3) 活動室の提供

ボランティア団体への活動支援として、活動室を無償で提供します。

| |
|---|
| <p>ア グリーンパレス内 活動室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積：50平方メートル ・日時：ボランティアセンター開所日の9時～17時 ・設備：机、椅子、ホワイトボード、印刷機（紙は利用者負担） |
| <p>イ 清新町活動室（清新町二丁目第2アパート1階）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所：江戸川区清新町2-2-1 ・面積：200平方メートル ・日時：年末年始を除く9時～21時 ・設備：机、椅子、ホワイトボード、印刷機（紙は利用者負担） |

(4) ボランティアフェスティバルの開催

ボランティア団体とその活動内容を広く区民に紹介することにより、ボランティアへの理解を深めるなど、ボランティアの普及啓発活動の場とします。

- ・日程：11月25日（土）（予定）
- ・会場：タワーホール船堀
- ・参加：区内で活動するボランティア・NPO団体
- ・内容：広くボランティア活動の紹介と交流を深めます。

(5) ボランティア保険料及び団体活動費等の助成

ボランティア（個人・団体）の安定的、継続的な活動を支え、更なる充実のために以下の助成を行います。

ア ボランティア保険料の一部助成

- ・対象：当法人に登録した団体の会員及び個人
- ・助成：上限300円
基本Aコース（350円）の場合、50円の自己負担あり
- ・取扱：（社福）東京都社会福祉協議会

イ ボランティア団体活動費の助成

- ・対象：当法人に登録した団体
- ・助成：年間4万円＋会員数×200円（限度額8千円）を限度に、活動費（消耗品等）を助成（飲食費、交通費等は対象外）

(6) 区災害ボランティアセンターの整備

東京湾北部地震及び巨大台風等による大災害に備え、当法人が社会福祉協議会とともに災害ボランティアの受入れ窓口としての機能を発揮し、災害時のボランティア活動がスムーズに行われるよう、区災害ボランティアセンターの設置及び運営のための環境整備に努めます。また、災害ボランティアの登録者を増やし、登録者との勉強会や災害ボランティアセンターの運営訓練等を開催し、受援力の向上を図ります。

ア 区災害ボランティアセンター設置・運営訓練

- ・日時： 1月
- ・会場：東小松川公園、グリーンパレス
- ・対象：登録災害ボランティア、災害時協定締結先、当法人職員、社協職員
- ・内容：運営マニュアルにあるボランティアの受入れから送り出しまでの一連の流れを実際に訓練します。

イ 災害ボランティア研修会

- ・日時： 9月
- ・会場：グリーンパレス
- ・対象：登録災害ボランティア、災害時協定締結先、当法人職員、社協職員
- ・内容：災害支援NPOを講師とし、災害ボランティアとしての被災地での活動の仕方や、被災地としてボランティアをどのように受け入れるか等を学びます。

ウ 区災害ボランティアセンター開設場所の検討

現在の開設場所であるグリーンパレスが、老朽化による施設の廃止が予想されるため、新たな場所の検討を行います。